

学校だより

10月号

やさしい子 たくましい子 考える子



# 黒門

発行日 令和6年9月30日  
発行者 台東区立黒門小学校  
校長 飯塚 雅之

## 自信をもって「黒門小学校」を語る6年生の子供たち

副校長 岩崎 公慈

朝晩はずずしい日が増え、熱中症指数計を確認しながら休み時間の外遊びの時間を短縮する日も減ってきました。運動会の取組が本格的に進む中、引き続き、熱中症予防、水分補給を呼びかけながら、元気に教育活動を進めてまいります。

9月には今年度2回目の学校説明会を開催しました。未就学児童の保護者を対象にしたこの説明会では、学校の教育方針や教育活動について説明し、育ての会の活動の様子を紹介しています。ここ数年、会の冒頭で6年生児童が本校の様子や学校生活についてプレゼンを担当して、当事者の生の声を届けるという取組をしています。今年度は6月に1組、9月に2組の児童が担当しました。

### 【参加された皆様の感想より】

- ・卒業生です。校舎や文化を大切に守ってくださっていることが分かり嬉しかったです。
- ・緊張することなく、保護者の方を確り見て、堂々と発表する姿は大人顔負けで感動しました。スライドも様々な工夫が見えて、素晴らしかったです。また黒門小学校に愛と誇りをもって、素敵と感じました。
- ・将来自分たちの子供がどう育ち学んでいるのかを想像する事ができ、とても嬉しく思ったと同時に児童たちが自分の学校の魅力を理解し誇らしく紹介している姿に感動いたしました。
- ・プレゼンが分かりやすく、資料も説明がずっと入ってきて普段からICT教育がしっかりされているのだと感じます。また、自分の発表の番が終わり他の子が話している間も姿勢正しく待っているのが印象的でした。
- ・写真がたくさん載っていてとても分かりやすかったです。みなさん大きな声で堂々と発表ができていて素晴らしいと思いました。
- ・分かりやすく、愛校心溢れる堂々としたプレゼンテーションでした。
- ・4つのテーマについてよく調査してまとめられており、分かりやすい発表で素晴らしかったです。
- ・『黒門小あるある』では児童のよくないところもきちんと発表されていた。在校生から直接通学事情が具体的に聞けて良かった。
- ・発表の際にPCの不具合がありましたが、慌てることなく自分達で解決しようとしており遅く感じました。



黒門小学校のよい点、好きな点を誇らしげに語る6年生からは確かな愛校心を感じます。グループで発表内容を考え、必要なデータを集めてプレゼンを作成し、十分な準備を進めてきました。それを伝えることで説明会の参加者から感謝されることは、大きな自己有用感をもつことにもつながっています。

説明、プレゼンをする際には、相手意識をもち、自分の考えを分かりやすく伝えるということが重要です。学習の発表の場として下級生や授業参観に来た保護者の方などを対象にしていることが多いです。初対面の方に対して話をするという機会は少なく、大人でも緊張するものです。本校では上野公園に出かけ、インタビューをしたり、校外学習に出かけた際に臆することなく質問したりできる子供が大勢います。今後も様々な機会を作り、相手の立場を思いやり、自分の考えをしっかりと伝える子供を育成していきたいと考えています。

**朝の登校は8時から8時15分までです。登校時刻の調整をお願いいたします。**

**欠席・遅刻の連絡は「SumaMachi(スマまち)」で朝8時までをお願いいたします。**

**10月12日(土)は運動会です。保護者の他、未就学児童と保護者、地域の皆様どなたでも参観することができます。ぜひ、ご来校ください。**